

## 2024(令和6)年度 手話通訳士現任研修(遠隔地研修) 開催要項

1. 目的： 手話通訳士に対し、司法や高等教育機関等の専門分野で求められている知識と技術について研鑽する機会を設けることにより、あらゆる場面での確かな手話通訳ができるよう資質の向上を図り、もって聴覚障害者の更なる社会参加に寄与することを目的とする。
2. 実施主体： 社会福祉法人 全国手話研修センター
3. 対象者： 手話通訳士の資格を有する方
4. 研修内容： 講義 + 実技 + レポート（諸事情により変更する場合があります）
  - (1) 2024年度のテーマ：『手話通訳者のセルフマネジメント』
  - (2) 講義：
    - ・インターネットを利用したオンデマンド形式（自宅等で繰り返し視聴できます）
    - ・各講義時間：約60～90分
    - ・視聴期間：2024年10月14日(月)15:00(予定)～2025年2月28日(金)
    - ・2022年度～2023年度の講義映像を併せて視聴できます。

### <講義のご案内>

|                                     |  |   |
|-------------------------------------|--|---|
| 2024年度<br>『手話通訳者のセルフマネジメント』         | 医療通訳における権利擁護と自己管理<br>～患者を守り、自分も守る～               | 医療通訳研究会(MEDINT)代表<br>スペイン語通訳・社会福祉士<br>村松 紀子 氏     |
|                                     | 医療場面の通訳の実際<br>～手話通訳活動あり方検討委員会の事例から学ぶ～            | 一般社団法人 全国手話通訳問題研究会<br>手話通訳活動あり方検討委員会委員<br>原田 洋行 氏 |
|                                     | 医療場面における手話通訳<br>～聞こえない人の視点～                      | 聴覚障害者情報提供施設相談員<br>社会福祉士 中西 久美子 氏                  |
|                                     | 優生保護法問題と私たち<br>その全面解決に向けて*                       | 元ひょうご聴覚障害者福祉事業協会<br>理事長 大矢 暉氏                     |
|                                     | 手話通訳者の頸肩腕障害とその予防*                                | びわこリハビリテーション専門職大学<br>教授 埜田 和史氏                    |
| 2023年度<br>『言語』                      | 障害者情報アクセシビリティ・<br>コミュニケーション施策推進法<br>および手話言語法について | 中西 久美子 氏  |
|                                     | 手話言語をとりまく社会の変革<br>～医学モデルから社会モデルへ～                | 石橋 大吾 氏   |
|                                     | 聴覚障害者を取り巻く情勢と課題<br>～国連からの総括所見(2022年)を受けて～        | 佐藤 久夫 氏   |
|                                     | 子どもたちとの「コミュニケーション」を考える                           | 松崎 丈 氏  |
|                                     | 言語権保障と通訳翻訳                                       | 水野 真木子 氏  |
| 異文化理解とコミュニケーション                     | 加藤 三保子 氏   |   |
| 2022年度<br>『手話通訳士の倫理綱領をもう一度考えよう』     | 倫理規定とは何か<br>～通訳分野を中心に様々な分野から学ぶ～                  | 水野 真木子 氏  |
|                                     | 手話通訳士倫理綱領を紐解く                                    | 鈴木 唯美 氏   |
|                                     | 手話通訳の養成のこれからを考える<br>～登録手話通訳者の実態調査より～             | 近藤 幸一 氏   |
|                                     | 手話通訳活動あり方検討委員会の事例から学ぶ危機管理(リスクマネジメント)             | 原田 洋行 氏   |
| ICTを活用した手話通訳の現状・今後の動向<br>～ろう者の立場から～ | 倉野 直紀 氏  |   |

\*は、2024年度手話通訳士現任研修における講義と共通です。

### (3) 実技

- ・日程：① お申し込みの際、以下のうち参加可能日を選択してください  
②・10月10日(木)に参加確定日をお知らせします。

| 選択 | 日程              | 形式      | 会場             |
|----|-----------------|---------|----------------|
| 1  | 2024年12月8日(日)   | 集合形式    | 全国手話研修センター(京都) |
| 2  | 2025年1月13日(月・祝) | 集合形式    | 東京都もしくは神奈川県※   |
| 3  | 2月2日(日)         | オンライン形式 | —              |
| 4  | 2月3日(月)         | オンライン形式 | —              |

※ 会場予約の事情で8月中旬に、全国手話研修センターホームページにて案内します。

- ・時間：10:00～16:00(予定。休憩1時間を含む、約5時間)
- ・内容：「手話通訳者のセルフマネジメント(グループワークを中心とした実技演習)」
- ・講師：一般社団法人 日本手話通訳士協会 渡部 芳博 氏、築山 恭子 氏

### (4) 修了レポート ( 詳細は、実技研修時にお知らせします )

- ・テーマ：「手話通訳者のセルフマネジメントについて」
- ・実技研修でのグループワークを通して、自身の考えを800字程度で記述してください。
- ・提出期限：2025年2月28日(金)

## 5. お申込みについて：・全国手話研修センターホームページから個人で直接お申込み下さい

(1) 受付およびお支払い期間：2024年8月14日(水)15:00～9月30日(月)

(2) 手順 ① 全国手話研修センターホームページへアクセス

② 「手話通訳士現任研修」をクリック ※[お申込みの流れ]で手順をご確認ください

③ [お申込みはこちら]をクリックし、「お申込み画面」に必要項目を入力し、送信

④ 「申込受付完了/振込案内」メールが届く

⑤ 研修費用のお振込み → 振込日から約7日以内に「振込確認/受講案内」メールが届く

※ ④、⑤のメールが届かない場合は、事務局へご連絡をお願いします。

※ 公費で受講される場合についても、上記[お申込みの流れ]でご確認ください。



(3) 研修費：6,000円(税込み、講義資料代別※)

※ 講義資料は各自でダウンロードできます。紙媒体(2024年度のみとなります)を希望される場合、資料代1,000円(税込み)とあわせて、7,000円をお振込みください。

(4) ご注意：講義のみ、実技のみのお申込みはできません。

## 6. 受講修了証について：

以下のすべてを満たされた方に修了証を発行します(2025年3月中旬発行予定)

なお、2024年度よりデジタル形式になります。詳細についてはあらためてお知らせします。

- ① 2024年度講義映像を全て視聴
- ② 実技への出席
- ③ レポートを期限までに提出

## 7. お問い合わせ 社会福祉法人全国手話研修センター手話事業課 研修部門

・お問い合わせはメールでお願いします。 E-mail [jinzai2@com-sagano.com](mailto:jinzai2@com-sagano.com)